

水産科学分野
令和3～4年度入学者

動物生産科学コース 水産科学分野

凡例

科目区分

必修
再掲は薄色表示

基礎教育必修
基礎教育選択必修

プログラム必修
プログラム選択必修

選択必修
卒業研究
国際コース
大学院連携科目

※隔年集中＝黒が開講時期

学年		1年生				2年生				3年生		4年生	
領域		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
D、実践	D-4.修得した知識・技術を社会に還元する意欲を有する。									実地見学			
	D-3.学際的知識を研究、開発に応用できる。									増殖学実習			
	D-2.複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を考える事ができる。									水産科学のフロンティア			
	D-1.科学の方法と論理的思考方法を身につけ、実践できる。									乗船実習Ⅰ		乗船実習Ⅱ	
C-2、技能 (統合・創造能力)	C-2-1.問題点を見出し、その解決策を考える事ができる。 知識を統合し、問題解決に利用することができる。									生物化学実験		水産化学実験	
										水産増殖学実験			
										水産生物環境学実験			
										海洋生物学実験			
										海洋資源化学実験			
											アクアフィールド科学実習		
										水族生化学実験			
												水産生物学実験第二	
C-1、技能 (専門的能力)	C-1-6.専門分野の内容を深く理解し、その知識を利用することができる。									水産科学のフロンティア			
	C-1-5.海洋生物の生産に関わる生命現象について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。							基礎化学実験		浮遊生物学Ⅰ	浮遊生物学Ⅱ		
	C-1-4.海洋生物資源の最適生産・保護・管理について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。									魚類免疫学Ⅰ	魚類免疫学Ⅱ		海洋科学
										藻類学Ⅱ	水産増殖学		魚病学
										水産資源学Ⅰ	水産資源学Ⅱ	水族生化学Ⅱ	
										水産生物環境学Ⅰ	水産生物環境学Ⅱ		水産海洋学
	C-1-3.海洋生物資源の利用について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。							基礎生物学実験Ⅰ	基礎生物学実験Ⅱ			水産生態系の保全と再生	水産経済学
	C-1-2.数式を業務に必要なレベルで解析、処理できる。									海洋微生物学Ⅰ	海洋微生物学Ⅱ		
	C-1-1.実験や計算の結果を評価し、自分の考えを正しく表現出来る。									海洋資源化学Ⅰ	海洋資源化学Ⅱ		栽培漁業学
B、知識・理解	B-5.下記の知識を統合し、学際的知識を理解し、説明できる。									動物生産科学概論			
	B-4.現代科学、特に水産科学に関わる諸科学の様々な現象を理解し、説明できる。									魚類学Ⅰ	魚類学Ⅱ		
										動物発生学Ⅰ	飼料・草地学Ⅰ		
										動物生理学Ⅰ	動物生理学Ⅱ		
										水族生埋生生物学Ⅰ	水族生埋生生物学Ⅱ		
										動物組織学Ⅰ	動物組織学Ⅱ		
										動物行動生態学Ⅰ	動物行動生態学Ⅱ		
										藻類学Ⅰ	水族生化学Ⅰ		
	B-3.生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。									無脊椎動物学			
										動物学Ⅰ	動物学Ⅱ		
										生物生産生態学			
										分子生物学			
	B-2.化学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。									分子細胞生物学			
										生物化学Ⅰ	生物化学Ⅱ		
										基礎化学結合論Ⅰ	基礎化学結合論Ⅱ	基礎化学熱力学Ⅰ	基礎化学熱力学Ⅱ
										基礎生化学Ⅰ	基礎生化学Ⅱ	有機化学Ⅰ	
A 主体的学び・協学	A-6.情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、自分の考えを正しく表現できる。									数値解析学Ⅰ	数値解析学Ⅱ		
	A-5.文章表現能力、口頭発表能力、及び討議力を持って広く世界と交流し、効率的に情報を発信、吸収できる。												
	A-4.海洋生物・水産科学のみならず広く自然科学分野についての興味をもつ。												
	A-3.多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたる事ができる。												
	A-2.深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。												
領域	A-1.学修目標（学士課程）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	学年	1年生				2年生				3年生			4年生
学士課程の時期区分		基礎・発展								統合			
アセスメント・プラン		「学生による自己評価項目」結果と学生のGPAをつき合わせて、学生個人個人について学修上の問題点を抽出する。抽出した問題点について、科目のシラバス内容が適切・充分であるかを検討し、必要であればシラバス内容の修正を図る。同時にカリキュラム・ポリシーにそった体系的な積み上げ学修が出来ているかを検討し、新たな科目設定も含めて、科目の配置を再考する。								卒業研究発表の機会を利用して、教員側からの評価項目（5項目）と学生の自己分析項目（5項目）をつき合わせ、学生に不足する知識・能力、特にディプロマ・ポリシーの「C-1.専門的能力」および「C-2.統合・創造能力」について、不足する点を抽出する。その問題点を克服するために必要なカリキュラムの検討・改善を図る。			

水産科学分野
令和5年度入学者

5年度入学者

動物生産科学コース 水産科学分野

凡例

科目区分

基幹教育必修

基幹教育選択必修

プログラム必修

プログラム選択

選択必修

卒業研究

国際コース選択必修

大学院連携科目

※隔年集中二黒が開講時期

学年		1年生				2年生				3年生		4年生									
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
D、実践	領域	D-4.修得した知識・技術を社会に還元する意欲を有する。									実地見学				卒業研究						
		D-3.学際的知識を研究・開発に応用できる。								増殖学実習				卒業研究							
		D-2.複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を考える事ができる。								水産科学のフロンティア				卒業研究							
		D-1.科学の方法と論理的思考方法を身につけ、実践できる。								乗船実習				卒業研究							
C-2、技能 (統合・創造能力)		C-2-1.問題点を見出し、その解決策を考える事ができる。 知識を統合し、問題解決に利用することができる。									生物化学実験		水産化学実験		卒業研究						
											水産増殖学実験										
											水産生物環境学実験										
											海洋生物学実験										
											海洋資源化学実験										
											アクアワールド科学実習										
											水産生化学実験										
													水産生物学実験								
C-1、技能 (専門的能力)		C-1-6.専門分野の内容を深く理解し、その知識を利用することができる。 C-1-5.海洋生物の生産に関わる生命現象について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。 C-1-4.海洋生物資源の最適生産・保護・管理について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。 C-1-3.海洋生物資源の利用について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。 C-1-2.数式を業務に必要なレベルで解析、処理できる。 C-1-1.実験や計算の結果を評価し、自分の考えを正しく表現出来る。									水産科学のフロンティア				卒業研究						
												基礎化学実験		浮遊生物学Ⅰ	浮遊生物学Ⅱ			卒業研究			
													魚類免疫学Ⅰ	魚類免疫学Ⅱ		海洋科学				海洋科学	
													藻類学Ⅱ	水産増殖学		魚病学				魚病学	
													水産資源学Ⅰ	水産資源学Ⅱ	水産生化学Ⅱ		卒業研究				
													水産生物環境学Ⅰ	水産生物環境学Ⅱ		水産海洋学				水産海洋学	
														水産生態系の保全と再生		水産経済学				水産経済学	
												基礎生物学実験Ⅰ	基礎生物学実験Ⅱ								
													海洋微生物学Ⅰ	海洋微生物学Ⅱ							
													海洋資源化学Ⅰ	海洋資源化学Ⅱ							
B、知識・理解		B-5.下記の知識を統合し、学際的知識を理解し、説明できる。 B-4.現代科学、特に水産科学に関わる諸科学の様々な現象を理解し、説明できる。 B-3.生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。 B-2.化学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。 B-1.数学・物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。									動物生産科学概論		動物組織学Ⅰ	動物組織学Ⅱ							
													魚類学Ⅰ	魚類学Ⅱ							
													動物発生学Ⅰ		飼料・草地学Ⅰ						
													動物生理学Ⅰ		動物生理学Ⅱ						
													水産生理生態学Ⅰ		水産生理生態学Ⅱ						
													動物形態学Ⅰ		動物形態学Ⅱ						
													動物行動生態学Ⅰ		動物行動生態学Ⅱ						
													藻類学Ⅰ	水産生化学Ⅰ							
													生物学概論		基礎生物有機化学Ⅰ	基礎生物有機化学Ⅱ	無脊椎動物学				
													細胞生物学		集団生物学	動物学Ⅰ	動物学Ⅱ				
													生態系の科学		生物生産生態学						
													分子生物学								
A、主体的学び、協学		A-5.情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、自分の考えを正しく表現できる。 A-4.文章表現能力、口頭発表能力、及び討議力を持って広く世界と交流し、効率的に情報を発信、吸収できる。 A-3.海洋生物、水産科学のみならず広く自然科学分野についての興味をもつ。 A-2.多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたる事ができる。 A-1.深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	サイバーセキュリティ基礎論									数値解析学Ⅰ		数値解析学Ⅱ							
			情報演習Ⅰ		情報演習Ⅱ																
			言語文化科目(第二外国語Ⅰ)				言語文化科目(第二外国語Ⅱ)									専門英語	科学英語				
			学術英語・アカデミックイシューズ		学術英語・プロダクションⅠ	学術英語・プロダクションⅡ	学術英語・テーマベース	学術英語・テーマベース	学術英語・テーマベース	学術英語・テーマベース											
							学術英語・スキルベース	学術英語・スキルベース	学術英語・スキルベース	学術英語・スキルベース											
							学術英語・CALLⅠ		学術英語・CALLⅡ												
			学術英語・グローバルイシューズ						学術英語・集中演習		学術英語・集中演習										
			農学入門Ⅰ																		
			農学入門Ⅱ																		
			基幹教育セミナー		The Law and Politics of International Society		アグリフードンシステムと農学		ミクロ経済学												
			哲学・思想入門		哲学・思想入門				政治経済学												
			先史学入門		先史学入門																
歴史学入門		歴史学入門																			
文学・言語学入門		文学・言語学入門																			
芸術学入門		芸術学入門																			
文化人類学入門		文化人類学入門																			
地理学入門		地理学入門																			
社会学入門		社会学入門																			
心理学入門		心理学入門																			
教育基礎学入門		現代教育学入門		現代教育学入門		教育基礎学入門															
法学入門		法学入門																			
政治学入門		政治学入門																			
経済学入門		経済学入門																			
経済史入門		経済史入門																			
健康・スポーツ科学演習		課題協学科目				高年次基幹教育科目															
領域	学修目標(学士課程)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
学年		1年生				2年生				3年生				4年生							
学士課程の時期区分		基盤・発展												統合							
アセスメント・プラン		「学生による自己評価項目」結果と学生のGPAをつき合わせて、学生個人個人について学修上の問題点を抽出する。抽出した問題点について、科目のシラバス内容が適切・充分であるかを検討し、必要であればシラバス内容の修正を図る。同時にカリキュラム・ポリシーにそった体系的な積み上げ学修が出来ているかを検討し、新たな科目設定も含めて、科目の配置を再考する。												卒業研究発表の機会を利用して、教員間からの評価項目(3項目)と学生の自己分析項目(5項目)をつき合わせ、学生に不足する知識・能力、特にディプロマ・ポリシーの「C-1.専門的能力」および「C-2.統合・創造能力」について、不足する点を抽出する。その問題点を克服するために必要なカリキュラムの検討・改善を図る							

水産科学分野
令和6年度入学者

5年度入学者

動物生産科学コース

水産科学分野

凡例

科目区分

基幹教育必修

基幹教育選択必修

プログラム必修

プログラム選択

選択必修

卒業研究

国際コース

大学院連携科目

※隔年集中＝黒が開講時期

		学年	1年生				2年生				3年生		4年生									
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q								
D、実践		D-4.修得した知識・技術を社会に還元する意欲を有する。									実地見学				卒業研究							
		D-3.学際的知識を研究、開発に応用できる。									増殖学実習				卒業研究							
		D-2.複眼的な視点を持ち、多様な問題解決法を考える事ができる。									水産科学のフロンティア				卒業研究							
		D-1.科学の方法と論理的思考方法を身につけ、実践できる。									船舶実習				卒業研究							
C-2、技能 (統合・創造能力)		C-2-1.問題点を見出し、その解決法を考える事ができる。 知識を統合し、問題解決に利用することができる。									生物化学実験		水産科学実験		卒業研究							
											水産増殖学実験											
											水産生物環境学実験											
											海洋生物学実験											
											海洋資源化学実験											
											アクアフィールド科学実習											
											水産生化学実験											
C-1、技能 (専門的能力)		C-1-6.専門分野の内容を深く理解し、その知識を利用することができる。									水産科学のフロンティア				卒業研究							
															卒業研究							
		C-1-5.海洋生物の生産に関わる生命現象について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。										基礎化学実験	浮遊生物学Ⅰ	浮遊生物学Ⅱ				海洋科学				海洋科学
													魚類免疫学Ⅰ	魚類免疫学Ⅱ							魚病学	
		C-1-4.海洋生物資源の最適生産・保護・管理について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。										藻類学Ⅱ	水産増殖学					魚病学			魚病学	
													水産資源学Ⅰ	水産資源学Ⅱ	水産生化学Ⅱ			卒業研究				
												水産生物環境学Ⅰ	水産生物環境学Ⅱ			水産海洋学					水産海洋学	
													水産生態系の保全と再生			水産経済学					水産経済学	
		C-1-3.海洋生物資源の利用について業務に必要なレベルで解析し、処理できる。											基礎生物学実験Ⅰ	基礎生物学実験Ⅱ								
													海洋微生物学Ⅰ	海洋微生物学Ⅱ								
C-1-2.数式を業務に必要なレベルで解析、処理できる。											海洋資源化学Ⅰ	海洋資源化学Ⅱ			船舶漁業学							
C-1-1.実験や計算の結果を評価し、自分の考えを正しく表現出来る。																						
B、知識・理解		B-5.下記の知識を統合し、学際的知識を理解し、説明できる。																				
		B-4.現代科学、特に水産科学に関わる諸科学の様々な現象を理解し、説明できる。																				
		B-3.生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。																				
B-2.化学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。																						
B-1.数学・物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。																						
A、主体的学び、協学		A-5.情報処理能力、コミュニケーション能力を高め、自分の考えを正しく表現できる。	サイバーセキュリティ基礎論																			
			情報演習Ⅰ		情報演習Ⅱ																	
		A-4.文章表現能力、口頭発表能力、及び討議力を持って広く世界と交流し、効率的に情報を発信、吸収できる。	言語文化科目（第二外国語Ⅰ）		言語文化科目（第二外国語Ⅱ）																	
			学術英語・アカデミックイシューズ	学術英語・プロダクションⅠ	学術英語・プロダクションⅡ	学術英語・テーマベース	学術英語・テーマベース	学術英語・テーマベース	学術英語・テーマベース													
						学術英語・スキルベース	学術英語・スキルベース	学術英語・スキルベース	学術英語・スキルベース													
			学術英語・グローバルイシューズ			学術英語・CALLⅠ	学術英語・CALLⅡ	学術英語・CALLⅠ	学術英語・CALLⅡ													
					学術英語・集中演習	学術英語・集中演習	学術英語・集中演習	学術英語・集中演習														
		A-3.海洋生物、水産科学のみならず広く自然科学分野についての興味をもつ。	農学入門Ⅰ																			
			農学入門Ⅱ																			
		A-2.多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたる事ができる。	基幹教育セミナー		The Law and Politics of International Society		アグリフッドシステムと農学															
			哲学・思想入門		哲学・思想入門																	
			先史学入門		先史学入門																	
			歴史学入門		歴史学入門																	
			文学・言語学入門		文学・言語学入門																	
			芸術学入門		芸術学入門																	
文化人類学入門			文化人類学入門																			
地理学入門			地理学入門																			
社会学入門			社会学入門																			
心理学入門			心理学入門																			
教育基礎学入門			現代教育学入門		現代教育学入門	教育基礎学入門																
法学入門			法学入門																			
政治学入門			政治学入門																			
経済学入門		経済学入門																				
経済学入門		経済学入門																				
A-1.深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	健康・スポーツ科学演習		課題協同学科目		高年次基幹教育科目																	
領域	学修目標（学生課程）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q					
学年		1年生				2年生				3年生				4年生								
学生課程の時期区分		基盤・発展												統合								
アセスメント・プラン		「学生による自己評価項目」結果と学生のGPAをつき合わせて、学生個人個人について学修上の問題点を抽出する。抽出した問題点について、科目のシラバス内容が適切・充分であるかを検討し、必要であればシラバス内容の修正を図る。同時にカリキュラム・ポリシーにそった体系的な積み上げ学修が出来ているかを検討し、新たな科目設定も含めて、科目の配置を再考する。												卒業研究発表の機会を利用して、教員側からの評価項目（5項目）と学生の自己分析項目（5項目）をつき合わせ、学生に不足する知識・能力、特にディプロマ・ポリシーの「C-1.専門的能力」および「C-2.統合・創造能力」について、不足する点を抽出する。その問題点を克服するために必要なカリキュラムの検討・改善を図る。								

令和7年度以降入学者

[illegible]